

三セクによるWi-Fi環境整備と 防災利用について

平成29年11月2日

安来市

山陰ケーブルビジョン株式会社



とじょこWi-Fi

やまぐちとじょこテレビ

- とじょこWi-Fiは安来市内の指定避難所等に設置しています。
- 災害時には一定期間全ての方に無料で開放致します。
- 詳しい内容・お問合わせは、やすぎとじょこテレビ ☎22-5050まで

はじめに

安来市の紹介

◆安来市

人口 39,513人(平成29年9月30日現在)

面積 420.93km²

市の木 竹

市の花 桜

市の鳥 白鳥

市の魚 どじょう



安来市の観光

- * 安来節
- * 清水寺
- * 月山富田城跡
- * 足立美術館 etc...



経緯

- * **平成23年** **安来市ブロードバンド通信網整備完了**
- * **同年** 安来市と山陰ケーブルビジョンの間でブロードバンド通信網のIRU契約を締結
- * **平成24年** 安来市と山陰ケーブルビジョンによるブロードバンド通信網を用いたWi-Fi環境整備の検討を開始
- * **平成26年6月** 中国総合通信局へ山陰ケーブルビジョンより公募申請書提出
- * **平成26年7月** 交付決定
- * **平成27年2月** 安来市と山陰ケーブルビジョン間で運用に関する協定書に調印
- * **平成27年2月** 施工完了
- * **平成27年3月** 利用に向けて住民周知、運用開始

安来市によるブロードバンド通信網整備

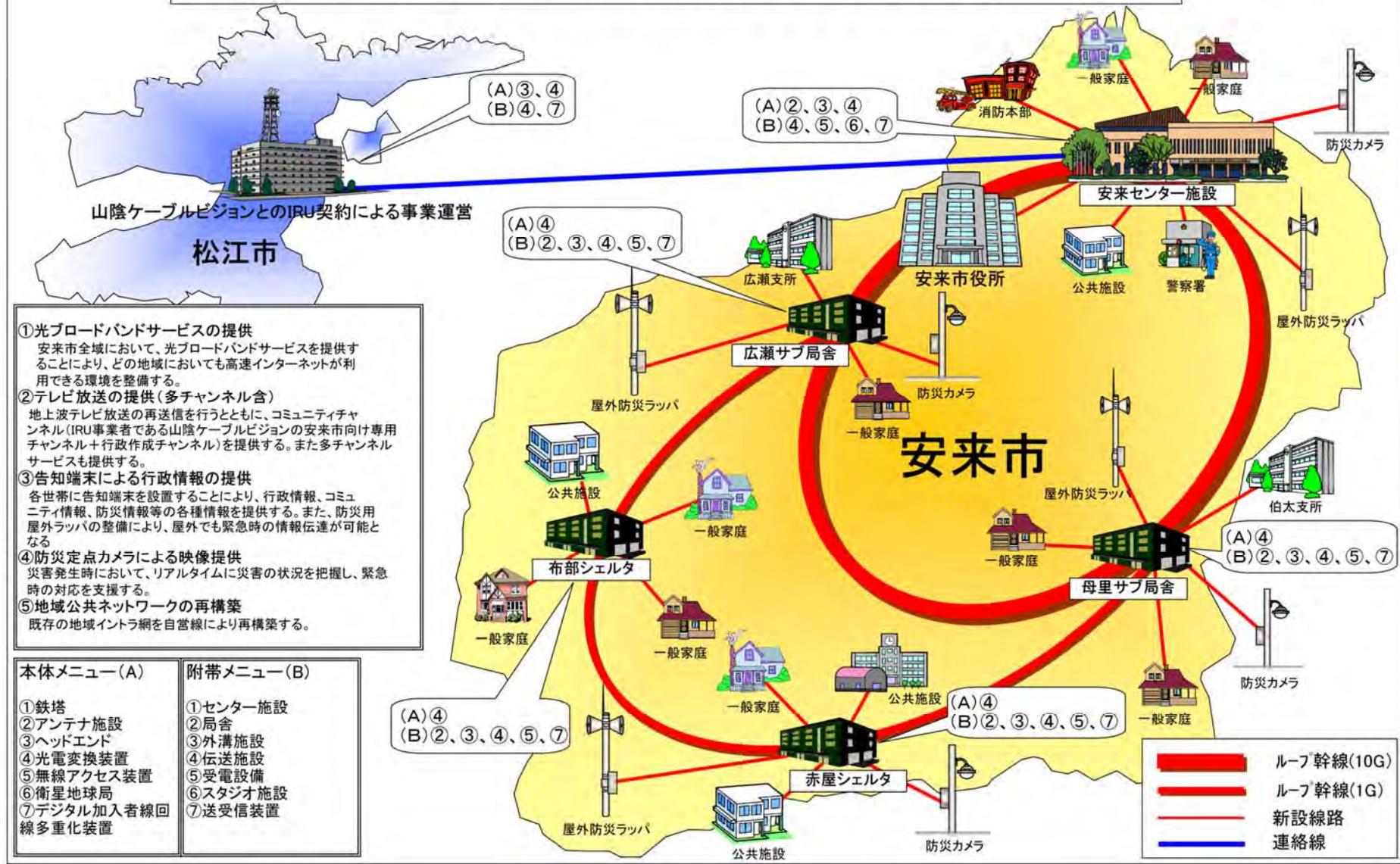
目的：便利で快適な情報通信サービスを安来市内どこでも使えるようすことによる
情報通信の地域間格差解消。

概要：行政からの情報伝達、高速インターネットサービス、地上デジタルテレビ放送
などが利用可能に。

ブロードバンド通信網を整備したことにより
Wi-Fi整備の下地ができた

平成21年度(補正)安来市地域情報通信基盤整備推進交付金概要図

別紙4



山陰ケーブルビジョンとのIRU契約による事業運営
松江市

- ①光ブロードバンドサービスの提供
安来市全域において、光ブロードバンドサービスを提供することにより、どの地域においても高速インターネットが利用できる環境を整備する。
- ②テレビ放送の提供(多チャンネル含)
地上波テレビ放送の再送信を行うとともに、コミュニティチャンネル(IRU事業者である山陰ケーブルビジョンの安来市向け専用チャンネル+行政作成チャンネル)を提供する。また多チャンネルサービスも提供する。
- ③告知端末による行政情報の提供
各世帯に告知端末を設置することにより、行政情報、コミュニティ情報、防災情報等の各種情報を提供する。また、防災用屋外ラッパの整備により、屋外でも緊急時の情報伝達が可能となる。
- ④防災定点カメラによる映像提供
災害発生時において、リアルタイムに災害の状況を把握し、緊急時の対応を支援する。
- ⑤地域公共ネットワークの再構築
既存の地域イントラ網を自営線により再構築する。

本体メニュー(A)	附帯メニュー(B)
①鉄塔	①センター施設
②アンテナ施設	②局舎
③ヘッドエンド	③外溝施設
④光電変換装置	④伝送施設
⑤無線アクセス装置	⑤受電設備
⑥衛星地球局	⑥スタジオ施設
⑦デジタル加入者線回線多重化装置	⑦送受信装置

	ループ幹線(10G)
	ループ幹線(1G)
	新設線路
	連絡線

経緯

- * 平成23年 安来市ブロードバンド通信網整備完了
- * 同年 安来市と山陰ケーブルビジョンの間でブロードバンド通信網のIRU契約を締結
- * 平成24年 安来市と山陰ケーブルビジョンによるブロードバンド通信網を用いたWi-Fi環境整備の検討を開始
- * 平成26年6月 中国総合通信局へ山陰ケーブルビジョンにより公募申請書提出
- * 平成26年7月 交付決定
- * 平成27年2月 安来市と山陰ケーブルビジョン間で運用に関する協定書に調印
- * 平成27年2月 施工完了
- * 平成27年3月 利用に向けて住民周知、運用開始

経緯

- * 平成23年 安来市ブロードバンド通信網整備完了
- * 同年 安来市と山陰ケーブルビジョンの間でブロードバンド通信網のIRU契約を締結
- * 平成24年 安来市と山陰ケーブルビジョンによるブロードバンド通信網を用いたWi-Fi環境整備検討を開始
- * 平成26年6月 中国総合通信局へ山陰ケーブルビジョンより公募申請書提出
- * 平成26年7月 交付決定
- * 平成27年2月 安来市と山陰ケーブルビジョン間で運用に関する協定書に調印
- * 平成27年2月 施工完了
- * 平成27年3月 利用に向けて住民周知、運用開始

Wi-Fi環境整備検討の経緯

- * 平成24年夏

安来市情報政策課より山陰ケーブルビジョンに対して、やすぎどじょっこテレビの民間サービスとしてのWi-Fi整備の可能性について打診し検討を開始。

- * 平成25年夏

山陰ケーブルビジョンより安来市に対し、本市の地域活性化の一環としてやすぎどじょっこテレビによるWi-Fi整備の計画を提案。

その後、安来市情報通信網の所管課である情報政策課と事業化に向けて検討を開始。

- * 整備主体 : どじょっこテレビ

- * ランニング費用: 協議

Wi-Fi環境整備推進と事業開始

* 平成26年5月

総務省が「防災情報ステーション等整備事業(補助金)」を25年度補正予算として2次募集開始。山陰ケーブルビジョンと安来市の関係各課により、山陰ケーブルビジョンと整備計画、運用指針について協議を開始。

* 平成26年6月 中国総合通信局へ山陰ケーブルビジョンより公募申請書提出

* 平成26年7月 交付決定

* 平成27年2月 安来市と山陰ケーブルビジョン間で運用に関する協定書に調印

* 平成27年2月 施工完了

* 平成27年3月上旬～ 利用に向けて住民周知、運用開始

事業概要

◆設置目的

- * 災害時に避難所等での適切な情報伝達手段を確保するため。
- * 地元住民はもとより、地元に馴染みのない観光客等の災害時等に生じる不安の緩和を図るため。
(災害時ではなくてもメールアドレスの登録により誰でも無料で利用できる。)

◆設置箇所

- * 安来節演芸館(指定避難所)に屋外型「防災情報ステーション」1基を設置。
- * 安来市内の指定避難所等、約70ヶ所に屋内型「無線LAN(Wi-Fi)のアクセスポイント」を設置。

(山陰ケーブルビジョン)防災情報ステーション等整備事業・事業概念図

事業概念図

全体概要

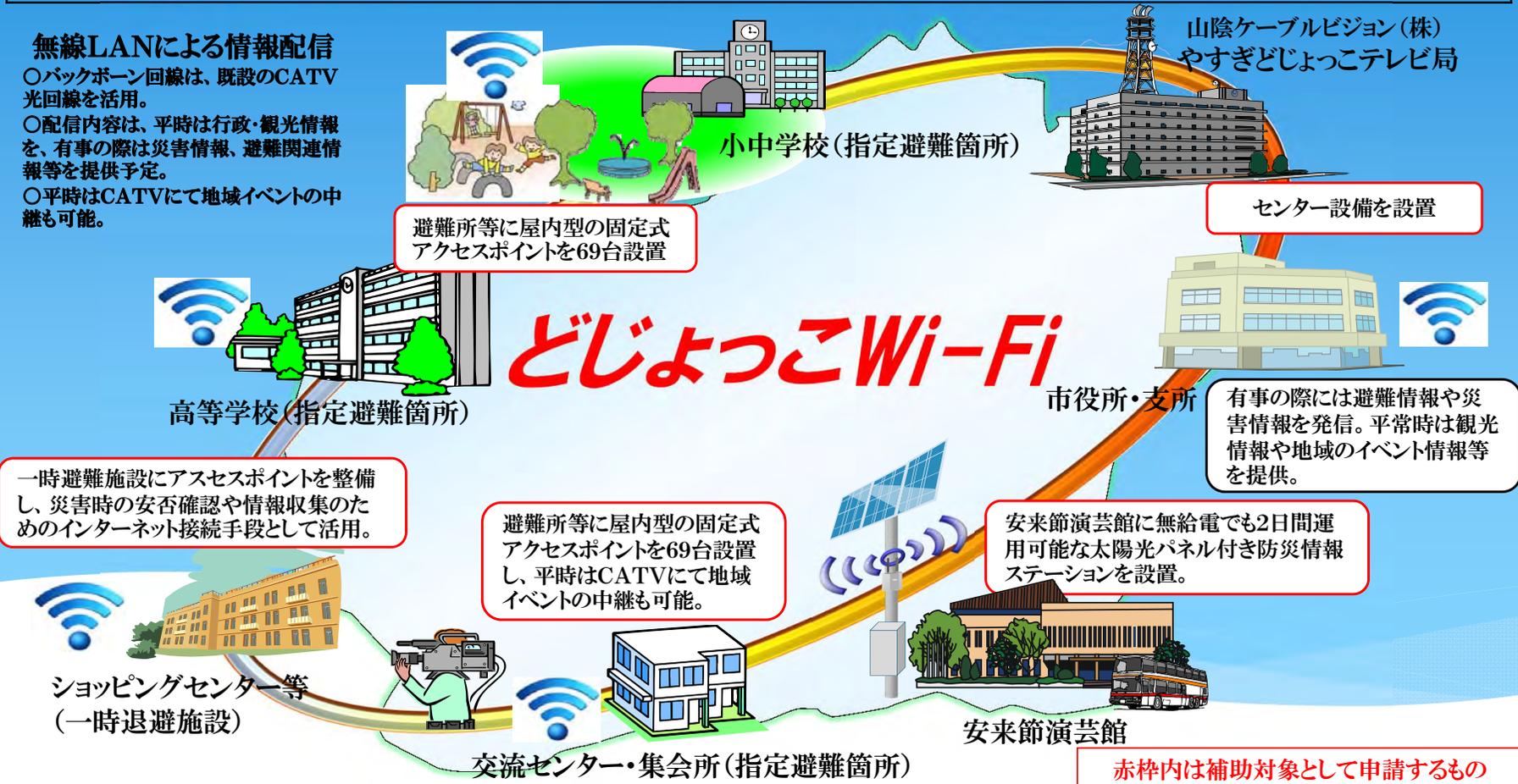
・避難所や一時退避施設など有事の際に情報提供を必要とする箇所に無線LAN環境を整備し、災害時の情報支援を行う。

要点

・自治体の持つ災害関連情報の提供、緊急事態時の重層的なインターネット接続手段の一環を提供することを可能とし、防災・減災に資する地域防災計画の一要素とする。

無線LANによる情報配信

- バックボーン回線は、既設のCATV光回線を活用。
- 配信内容は、平時は行政・観光情報を、有事の際は災害情報、避難関連情報等を提供予定。
- 平時はCATVにて地域イベントの中継も可能。



避難所等に屋内型の固定式
アクセスポイントを69台設置

センター設備を設置

一時避難施設にアクセスポイントを整備し、災害時の安否確認や情報収集のためのインターネット接続手段として活用。

避難所等に屋内型の固定式
アクセスポイントを69台設置し、平時はCATVにて地域
イベントの中継も可能。

安来節演芸館に無給電でも2日間運
用可能な太陽光パネル付き防災情報
ステーションを設置。

有事の際には避難情報や災
害情報を発信。平常時は観光
情報や地域のイベント情報等
を提供。

赤枠内は補助対象として申請するもの

屋外型「防災情報ステーション」



屋内型「無料LAN (Wi-Fi) のアクセスポイント」



参考1 報道発表概要 (H27. 2. 17)

- やすぎどじょっこテレビ局は、安来市とのIRU契約により、安来市のブロードバンド通信網を用いたケーブルテレビサービスを平成23年10月から提供しております。
- この間、安来市行政告知放送の保守やテレビによる地域放送、データ放送の利活用など、防災への地道な取り組みを行って参りました。そして現在、更なる安全・安心な暮らしづくりを目指し、安来市との協力により、総務省の「防災情報ステーション等整備事業」を活用し、やすぎどじょっこテレビ局が第三セクターとして、安来市指定避難所等70カ所にWi-Fiスポットを整備中です。このたび、3月中旬までに運用開始の予定となりましたので、今後の管理運用に向けた協定を、下記の日程で開催いたします。
- * 大規模災害時の発生時には、携帯電話や固定電話は回線が混雑して繋がりにくくなる傾向があります。そういった状況下において、「情報伝達」や「情報収集」の代替手段として、無線インターネット回線は比較的繋がり易く、災害時の通信の迂回ルートとしてその役割が期待されています。このたびの取り組みは、昨今の全国的な災害発生を受け、住民の防災意識が高まる中、自治体のみならず私たちも放送事業者として、災害時の対策・対応の強化を真摯に取り組む必要に迫られている状況にあると認識し取り組んでいるものです。
- * Wi-Fiスポットについては、平時にあっては市民の利用はもとより、観光客、中でも外国人観光客の情報入手手段としての利用も見込まれます。また、認証機能を用いて接続時間等について一定の制限をかけるなどセキュリティ確保の必要がありますが、災害発生時には、避難所が開設されている期間を基準に一般に開放します。

